



Veritas NetBackup™ アプライアンスファミリー

概要パンフレット

VERITAS™

VERITAS NETBACKUP™ アプライアンス

ベリタスはデータセンターニーズが変化していることを理解しており、市場をリードする NetBackup ソフトウェアの導入および保守を簡素化する手段として NetBackup アプライアンスを提供しています¹。

Veritas NetBackup アプライアンスを使用すれば、バックアップやディザスタリカバリ用のハードウェアおよびソフトウェアコンポーネントをインストール、設定、保守するための時間と労力を削減できます。

バックアップまたはディザスタリカバリ用のハードウェアインフラのアップグレードや拡張を行う場合、多くのお客様は、自社のサーバーとストレージを用意して環境を構築し統合を行うという従来の方法を選択するか、または適切な単体製品がないかどうか検討します。これは通常の対応ですが、目に見えない間接費がかかることに注意する必要があります。

また、多くのお客様が、複数のバックアップ製品を自社の環境で使用しています。1 つの単体製品を使用することは、最初のうちは良い考えに思えますが、次第に製品の数が増えていき、重複排除用のストレージサイロなど、各種の単体製品を使用することになります。この場合、コストと複雑さの両方が増えることになります。Veritas NetBackup アプライアンスを導入することで、物理または仮想データ保護製品、およびテープ、ディスクまたは仮想テープライブラリ (VTL) を、単一の統合データ保護プラットフォームに統合できます。

NetBackup アプライアンスは、購入してすぐに使えるターンキーソリューションを探しているお客様に最適なアプライアンスです。データセンター、リモートオフィス、および仮想環境に対して、効率的かつストレージに最適化したデータ保護を提供できます。Veritas NetBackup ソフトウェアの機能をベースとして設計された、このエンタープライズ向けアプライアンスは、統合型専用バックアップアプライアンス (PBBA) 市場² におけるリーダーの地位を保ち続けており、総所有コスト (TCO) を削減しながら、高いレベルの信頼性も実現しています。

統合型アプライアンスを選択すべき理由

IDC 社は、専用のバックアップアプライアンス (PBBA) を 2 つの異なるタイプ³ (ターゲットシステムと統合型システム) に定義しました。

- **ターゲットシステム**は、別のメーカーのバックアップソフトウェアと組み合わせて使用し、異機種混在環境で統合できるように設計されています。
- **統合型システム**は、バックアップサーバーとクライアントが緊密に連携して、データのバックアップ作業と移行作業を効率的に実行します。

ターゲットシステムと統合システムを比較すると、IT タスクの簡素化、生産性の向上、運用コストと設備投資の削減を実現したいと考えているお客様には、バックアップとリカバリ用の統合型アプライアンスのほうが適しています。

「綿密に調整された統合型 PBBA ソリューションは、企業にとって真のターンキーソリューションであり、これによりバックアップやリカバリに関する課題を容易に解決できるようになります」⁴ - IDC

NETBACKUP アプライアンスを採用すべき理由

- **業界をリードする NetBackup ソフトウェア**: 包括的で統合されたバックアップおよびストレージソリューションをお客様に提供するために、NetBackup ソフトウェアがプリインストールされています。
- **拡張性の高いアーキテクチャ**: 柔軟で拡張性の高いアーキテクチャに対応する NetBackup アプライアンスは、インテリジェントなエンドツーエンド重複排除機能を備えたオールインワンバックアップサーバーとして配備することも、1 日に数百 TB のデータを移動できる複数アプライアンス (メディアサーバー) の構成で配備することもできます。
- **最終的な仮想マシンの保護**: VMware vSphere™ と Microsoft Hyper-V® のサポートが組み込まれています。いくつかの他のソリューションとは異なり、NetBackup アプライアンスはプロキシサーバー要件のないオフホストバックアップであるため、関連する複雑さ、コスト、およびリソースオーバーヘッドが発生しません。
- **インテリジェントなエンドツーエンドの重複排除**: NetBackup 統合型アプライアンスは、ソースとターゲットの両方でエンドツーエンドの重複排除を実現する、単一ベンダーによる唯一のエンタープライズ向けバックアップアプライアンスです。

NetBackup 統合型アプライアンスを使用すると、有効な情報管理を目的とした企業のバックアップや重複排除戦略を容易に構築して導入することができます。NetBackup 環境でこのシンプルなソリューションを活用することにより、IT スタッフの時間、運用、ストレージ面で最大限の投資効果を獲得することができます。

統合型アプライアンスのビジネス上の価値

- **単一の統合ソリューション:** ハードウェア、ソフトウェア、サポートはすべて、ベリタスが一括管理します。お客様は、サーバー、ストレージ、オペレーティングシステム、バックアップソフトウェア、ネットワーク接続など、多数のさまざまなソリューション要素を開梱、ロード、インストール、テスト、管理、サポートする必要はありません。また、他のサプライヤから提供されたソリューションとの統合も不要です。同じく重要となるのは、ソースとターゲット両方での重複排除が、単一の統合ソリューションにより提供されることです。ベリタスは、アプライアンスに対してエンドツーエンドのテクニカルサポートを提供いたします。サポートに連絡する場合に必要な電話番号は 1 つです。
- **優れた費用対効果:** NetBackup アプライアンスでは、複数のバックアップソリューションを 1 つのプラットフォームに統合し、バックアップとディザスタリカバリ用のテープの使用を減らして、追加のハードウェアの購入を遅らせたり不要にしたりすることで、設備投資の削減を直ちに実現します。また、ターゲット重複排除ストレージシステムの設置、設定、サポートに関連する一般的な管理タスクが不要になるため、短期的および長期的な運用コストの削減を実現できます。最後になりましたが、このアプライアンスの使用は、永久的なフロントエンド容量に基づくライセンスモデルによって許諾されます。この方式では、他のハードウェアベースの重複排除アプライアンスよりも総所有コストを削減できるだけでなく、お客様のソフトウェアライセンスは、サポート対象のハードウェアプラットフォームまたは将来購入するアプライアンスのいずれかに移行できるため、お客様の投資を確実に保護できます。
- **容易な管理:** アプライアンスには、従来と同じ NetBackup 管理コンソールが付属しています。すでに NetBackup をご利用のお客様は、新しいインターフェースを習得する必要はありません。日常的なアプライアンスハードウェアの監視に必要なお客様の操作は最小限に抑えられているので、運用コストも削減できます。Veritas AutoSupport が、

「ベリタスの統合型アプライアンスを選択したことで、NetBackup サーバーの取得、調達、配備に関連するコストを初年度に平均で 45% 削減し、継続的な保守および管理コストを平均で 39% 削減した大企業のお客様もいらっしゃいます」⁵

ESG Lab は、NetBackup 5200 シリーズアプライアンスの導入が迅速かつ容易であることを確認しています。ESG Lab がアプライアンスを箱から取り出してバックアップに配備するまでに必要な時間は 25 分未満でした。⁶

ディスク、メモリ、電源、ファンなどの主要なハードウェアコンポーネントを自動的に監視します。ハードウェアの問題が検出された場合は、サポートチケットを登録してお客様に連絡します。ハードウェアとソフトウェアのパッチおよびソフトウェアアップグレードは、すべてベリタスによって管理されており、いくつかの簡単なステップで実行できます。

- **高速パフォーマンスと拡張性:** NetBackup アプライアンスは、多次元に拡張できる独自の機能によって高いバックアップとリカバリのパフォーマンスを実現します。この拡張性により 1 日あたり数万のバックアップジョブを実行することができます (複数台のアプライアンスを使用)。バックアップ処理と重複排除処理の両方を複数のメディアサーバーとクライアントに分散できる機能や、Veritas NetBackup™ Accelerator のような独自のテクノロジーによって、企業はサービスレベル契約を満たすことができます。
- **高い柔軟性:** NetBackup アプライアンスは、既存のソフトウェアと互換性があり、既存環境に追加して使用できます。複雑だったり業務に支障を及ぼしたりする移行プロセスや、時間のかかる再トレーニングは不要です。このアプライアンスは、仮想環境でも物理環境でも、インラインまたはポストプロセスの重複排除をソースとターゲットで実行できます。

Veritas NetBackup の数千ものお客様がすでにベリタスの統合型バックアップアプライアンスを採用し、その価値を実感しています。今や数万ものアプライアンスが 60 を超える国々で導入されており、バックアップとリカバリのエンドツーエンドプロセスを強化するというベリタスの取り組みは、多くの企業でプラスの効果をもたらしつつあります。

「NetBackup は最も拡張性に優れたバックアップおよびリカバリのソリューション」⁷

—Principled Technologies 社

「アプライアンスベースのデータ保護アプローチは、アジャイルなデータセンターのインフラに欠かせない要素となり、パブリックとプライベート両方でのクラウドサービスの構築を推進します」⁸

—ミシガン州

NetBackup 統合型アプライアンスファミリー

ベリタスの NETBACKUP 統合型アプライアンスファミリーは 2 つのシリーズで構成されます。

NetBackup 5200 シリーズ: NetBackup ドメインのマスターサーバー、メディアサーバー、またはその両方として配備できる、汎用性に優れた統合型バックアップアプライアンスです。アプライアンスとして運用を簡素化し、従来型の自社構築メディアサーバーよりも運用コストを削減します。

主な機能

- **あらゆる規模の環境に対応:** 4 TB から始めて、最大 201 TB まで容量を拡張できるため、リモートオフィス、支店、企業のデータセンターに最適。
- **複数の機能的役割:** NetBackup 環境のマスターサーバー、メディアサーバー、またはその両方として配備可能。
- **包括的:** 重複排除機能が組み込まれたバックアップソリューション。ベリタスがソフトウェア、ハードウェア、サービス、およびサポートを提供します。
- **インテリジェントなエンドツーエンドの重複排除:** バックアップのサイズを最大 50 倍、ネットワーク帯域幅の利用率を最大 99% 削減するため、より高速なバックアップとレプリケーションが可能。
- **柔軟性の高い重複排除オプション:** ソース、メディアサーバー、またはターゲットで、インラインまたはプロセス後の重複排除。

NetBackup 5300 シリーズ: ストレージを備えた統合型バックアップメディアサーバーで、より高いパフォーマンス、容量、耐障害性の要件に対応します。

主な機能

- **拡張可能な容量:** 114 TB から 458 TB まで拡張できるため、大規模企業、データセンター、ディザスタリカバリサイトに適しています。
- **堅牢:** NetBackup 5200 シリーズと比較してさらに優れたパフォーマンスと容量を実現。
- **耐障害性:** システム保護、重複排除プール、ストレージを強化。RAID コントローラ、ディスクコントローラ、電源、ファンモジュール、ディスクなどの冗長ホットスワップコンポーネントを含む、エンタープライズクラスのハードウェアを備えています。
- **高密度:** ラックユニット (RU) ごとの TB 数を増やすことで、必要な床面積が減り、電力や冷却にかかるコストも軽減されます。

NetBackup 統合型アプライアンスで実現する削減

NETBACKUP アプライアンスによる主な運用コストの削減

- **購入:** 複数の独立したメディアサーバーコンポーネントの注文、承認、計画、配送が不要になります。
- **導入と統合:** 導入、統合作業、テスト、パフォーマンスチューニングにかかわる多くの作業から解放されます。
- **管理:** 単一の管理コンソールを使用して、複数のタスクを実行できます。
- **バッチの適用とファームウェアのアップデート:** 多数のコンポーネントそれぞれについてリビジョンレベルやファームウェアなどを管理する必要がないため、互換性の問題が減少します。
- **サポート:** 問題が発生した場合に、さまざまなコンポーネントベンダーの中から責任のあるベンダーを探す必要がなくなります。

NETBACKUP アプライアンスによる主な設備投資の削減

- **ストレージ:** テープデバイスをベリタスのインテリジェントな重複排除ストレージに置き換えることで、ストレージコストを削減します。
- **スペース:** バックアップサーバーと重複排除ストレージを 1 台のアプライアンスに統合して、貴重なフロアスペースを節約します。
- **電力と冷却:** NetBackup 5240 と 5330 は ENERGY STAR® に準拠するバックアップアプライアンスであり、床面積と消費電力が削減されるため、IT 予算を別の目的に活用できます。

データベース管理者向けの VERITAS NETBACKUP™ COPILOT FOR ORACLE®

データベース管理者 (DBA) は RMAN などのネイティブ Oracle® ツールを使用して主要なバックアップ/リカバリ操作を制御でき、NetBackup 管理者は重複排除、レプリケーション、カタログ作成などの二次的的操作やポリシーの管理を行うことができます。

- DBA とバックアップ管理者の連携が簡単
- Oracle Database を高速にバックアップ、リカバリ
- ストレージコストを削減し、稼働中の環境への影響を低減

VERITAS™

NETBACKUP 統合型アプライアンス



	NetBackup 5240			NetBackup 5330
使用例	メディアサーバー	マスターサーバー	ストレージ付きメディアサーバー	ストレージ付きメディアサーバー
使用可能容量 (TB)	4 TB、 14 TB または 27 TB	4 TB	53 TB から 201 TB	114 TB から 458 TB
RAM (ランダムアクセスメモリ)	64 GB	64 GB	128 GB	384 GB
同時バックアップジョブ数 ⁹	150+			500+

拡張シェルフ

使用可能容量 (TB)	49 TB	114.6、または 229.2
-------------	-------	-----------------

その他の技術仕様および環境仕様については、各製品のデータシートを参照してください。

脚注:

1. Gartner 社、「Market Share Analysis: Enterprise Distributed System Backup/Recovery Software Market, Worldwide, 2013 (市場シェア分析: エンタープライズ分散システムのバックアップ/リカバリーソフトウェア市場、2013 年全世界版)」
2. IDC 社「Worldwide Quarterly Purpose Built Backup Appliance Tracker - 2015 Q1 (四半期ごとの世界の専用バックアップアプライアンストラッカー - 2015 年第 1 四半期)」、発行日: 2015 年 6 月 19 日
3. IDC 社「Market Analysis, Worldwide Purpose-Built Backup Appliances 2012 - 2016 Forecast and 2011 Vendor Shares (市場分析、世界の専用バックアップアプライアンス 2012 年 ~ 2016 年の予測と 2011 年のベンダーシェア)」、#234489, Robert Amatruda 著、2012 年 4 月
4. IDC 社のホワイトペーパー「The Evolution and Value of Purpose-Built Backup Appliances (専用バックアップアプライアンスの進化と価値)」、#239730, Robert Amatruda 著、2013 年 3 月
5. シマンテック社「The Business Value of a Symantec NetBackup Solution (Symantec NetBackup ソリューションのビジネス上の価値)」、ソリューションの概要。ドキュメント #2129045、2013 年。
6. 「ESG Lab Review Veritas NetBackup 5230 Appliance (ESG Lab による、Veritas NetBackup 5230 アプライアンスのレビュー)」、エンタープライズ戦略グループ、日付: 2013 年 12 月。Vinny Choiniski (上級ラボアナリスト)、Kerry Dolan (ラボアナリスト) 著。
7. 「Veritas NetBackup 7.6 Benchmark Comparison: Data Protection in a Large-Scale Virtual Environment (Part 1) Analyst Report. (Veritas NetBackup 7.6 ベンチマーク比較: 大規模仮想環境におけるデータ保護 (パート 1) アナリストレポート)」。Principled Technologies 社、2014 年 7 月。
8. 「Integrated Swiss Army Knife: Six use cases for data protection appliances (統合されたスイスアーミーナイフ: データ保護アプライアンスの 6 つの使用例)」、CIO Digest、2013 年 4 月。
9. ストリーム数は、データ I/O の総量に応じて増加させることができます。クライアントの重複排除およびアクセラレーションはデータ I/O の総量を減らすため、使用できるストリーム数を増やすことに寄与します。また、ハードコード化されたストリーム数制限はありません。